

(参考様式4)

事業所名 グループホーム 菜の花 西岡館

## 目標達成計画

作成日: 令和 7 年 2 月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2 3 20	・コロナ禍の影響や高齢化で町内会の活動が少ない。 ・地域資源における活用が出来ていない。	・運営推進会議が町内会、地域住民、近隣施設との交流機会となり、関係性が拡充することが出来る。 ・ホームの存在を地域に知らせ、周知することが出来る。	1) 町内会の定期総会、他行事への参加。 2) 年2回の避難訓練の実施を町内会防犯部に報告する。 3) 建物オーナーの主催する「月寒周辺地域 福祉・医療関連施設及び近隣町内会の情報交換会」に参加し運営推進会議に参加の打診をする。 4) 菜の花通信を媒体として町内会の回覧版で地域住民にホームのことを知って頂く。 令和7年4月 ～ 令和8年3月
2	36 37 45	・外出支援が不足している。	・散歩や買い物等の外出支援を行うことで入居者様のストレスの緩和や地域の交流をすることが出来る。	1) 近隣の散歩、買い物の時に出会った地域住民と挨拶し、会話を重ね、菜の花を認識して頂けるよう外出を行う。 2) 近隣施設や保育所等へ行き、挨拶や会話、遊び、敬老会等に招待するなどの交流を図る。 3) 入居者様と買い物に行く際、ご自身でお金を払えるよう支援を行う。 4) 近隣施設の夏祭りに参加する。 5) 花見、紅葉等 行楽地への外出。 令和7年4月 ～ 令和8年3月
3	24	・緊急時対応や感染対応等指導は重ねているが、対応の不足や不備が見られる。	・職員が上長の指示無く、初期対応が出来るようになる。	1) カンファレンス時に緊急時の初期対応をツールを使い復習する。(転倒・発熱・骨折・嘔吐・救急搬送) 2) 救急救命講習の日程を確認し、受講日を調整する。 3) 感染症の初動対応、防護服の着脱を定期的にカンファレンスに取り込み理解を深め、身体で覚える事を繰り返し行っていく。 令和7年4月 ～ 令和8年3月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。